

第2回 人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会	参考資料
平成29年9月29日	

平成29年度 人生の最終段階における医療に関する意識調査（案）

国民票（案）・・・・・・・・P 2～15

医師（看護職員、介護職員）票（案）・・・・・・・・P 16～23

施設票（案）・・・・・・・・P 24～29

問3 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合う時期があるとすると、いつ頃が良い年齢だと思いますか。(話し合ったことがある方は、いつ頃でしたか。)(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| ① 20歳未満 | ⑥ 年齢は関係ない |
| ② 20～39歳 | ⑦ その他() |
| ③ 40～59歳 | ⑧ わからない |
| ④ 60～69歳 | |
| ⑤ 70歳～ | |

問4 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすると、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある方は、何がきっかけでしたか。)(複数回答可)

- ① 誕生日
- ② 結婚
- ③ 妊娠・出産(配偶者の場合も含む)
- ④ 自分の病気
- ⑤ 退職
- ⑥ 還暦
- ⑦ ご家族等の病気や死
- ⑧ 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)から情報を得た時
- ⑨ 医療や介護関係者による説明や相談の機会を得た時
- ⑩ その他()

問5 あなたの死が近い場合の受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 新聞 | ⑦ 研修会や講演会 |
| ② 雑誌 | ⑧ 医療機関・介護施設 |
| ③ 書籍 | ⑨ 自治体(都道府県・市区町村) |
| ④ テレビ | ⑩ その他() |
| ⑤ ラジオ | |
| ⑥ インターネット | |

問6 あなたの死が近い場合の受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養を考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- ① 人生の最終段階の心身の状態の変化
- ② 人生の最終段階に受けられる医療の内容
- ③ 人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報
- ④ 人生の最終段階に受けた医療や療養の場所に関する体験談
- ⑤ 人生の最終段階における、自分の意思の伝え方や残し方
- ⑥ 人生の最終段階の相談・サポート体制
- ⑦ その他 ()
- ⑧ 知りたくない

問7 あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(○は1つ)

- ① 賛成である
- ② 反対である
- ③ わからない

(問7で「① 賛成である」と回答の方にお尋ねします。)

問7-1 実際に書面を作成していますか。(○は1つ)

- ① 作成している
- ② 作成していない

問8 あなたは、意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしいと思いますか。(○は1つ)

- ① 定めてほしい
- ② 定めなくてもよい
- ③ 定めるべきでない
- ④ わからない

問9 自分が意思決定できなくなったときに備えて、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人、もしくは人々を選定しておくことについてどう思いますか。(○は1つ)

- ① 賛成である
- ② 反対である
- ③ わからない

(問9で「① 賛成である」と回答の方にお尋ねします。)

問9-1 実際に選定していますか。(○は1つ)

- ① 選定している
- ② 選定していない

(問9-1で「① 選定している」と回答の方にお尋ねします。)

問9-2 選定された人は、あなたの希望について、どの程度知っていると思いますか。(○は1つ)

- ① 十分に知っていると思う
- ② 知っていると思う
- ③ よく知らないと思う

問10 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、知っていますか。(○は1つ)

- ① よく知っている
- ② 聞いたことはあるがよく知らない
- ③ 知らない

問11 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)が重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- ① 賛成である
- ② 反対である
- ③ わからない

問12 どこで最期を迎えたいかを考える際に、重要だと思うことはなんですか。

(複数回答可)

- ① 信頼できる医師、看護師、介護職員などにみてもらうこと
- ② 自分がなじみのある場所にいること
- ③ 家族等との十分な時間を過ごせること
- ④ 自分らしくいられること
- ⑤ 人間としての尊厳を保てること
- ⑥ 体や心の苦痛なく過ごせること
- ⑦ 不安がないこと
- ⑧ 家族等の負担にならないこと
- ⑨ 可能な限り長生きすること
- ⑩ 積極的な医療を続けられること
- ⑪ 経済的な負担が少ないこと
- ⑫ どんなことでも相談できる窓口があること
- ⑬ その他 ()

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の医療に関するご希望を伺います。3つの異なる状態を示すので、それぞれについてお答えください。】

※病状による変化は参考資料をご参照ください。

問13 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問13-1 どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問13-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(○は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

(問13-1、問13-2で「①医療機関」「②介護施設」をお選びの方にお尋ねします。)

問13-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
- ② 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
- ③ 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
- ④ 24時間相談にのってくれるところがないから
- ⑤ 介護してくれる家族等がないから
- ⑥ 介護してくれる家族等に負担がかかるから
- ⑦ 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
- ⑧ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
- ⑩ 居住環境が整っていないから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他()

(問13-2で「③自宅」をお選びの方にお尋ねします。)

問13-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
- ③ 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他()

問13-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

- (ア) 副作用はあるものの、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)
① 望む ② 望まない ③ わからない
- (キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)
① 望む ② 望まない ③ 分からない

(問14-2で「③自宅」をお選びの方にお尋ねします。)

問14-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
- ③ 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなった時にすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他()

問14-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

- ① 望む
- ② 望まない
- ③ わからない

(問15-2で「③自宅」をお選びの方にお尋ねします。)

問15-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。

(複数回答可)

- ① 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
- ② 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
- ③ 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
- ④ 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
- ⑤ 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
- ⑥ 家族等との時間を多くしたいから
- ⑦ 家族等に看取られて最期を迎えたいから
- ⑧ 家族等が自宅で最期を迎えていたから
- ⑨ 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
- ⑩ 症状が急に悪くなった時にすぐに入院できる体制が整っているから
- ⑪ 経済的に負担が大きいと思うから
- ⑫ その他()

問15-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

- ① 望む ② 望まない ③ わからない

(6) あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる介護を、最近5年間に経験しましたか。(複数回答可)

- ① 入院で経験した
- ② 施設入所で経験した
- ③ 在宅療養で経験した
- ④ 経験していない

(7) あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(複数回答可)

- ① 病院で経験をした
- ② 施設で経験をした
- ③ 在宅で経験をした
- ④ 経験していない

((7)で「① 病院で経験をした」「② 施設で経験をした」「③ 在宅で経験をした」と回答の方にお尋ねします。)

(7) - 1 大切な人の死において 心残りがありますか。(○は1つ)

- ① ある
- ② ない

((7) - 1で「① ある」と回答の方にお尋ねします)

(7) - 2 どうしていたら心残りがなかったと思いますか。(複数回答可)

- ① あらかじめ身近で大切な人と人生の最終段階について話し合えていたら
- ② もっと早く医療や介護関係者等と人生の最終段階について話し合いをしていたら
- ③ 信頼できる医療や介護関係者等と出会えていたら
- ④ 同じ医師に継続して診療してもらえていたら
- ⑤ 大切な人の苦痛がもっと緩和されていたら
- ⑥ 望んだ場所で療養できていたら
- ⑦ 望んだ場所で最期を迎えていたら
- ⑧ その他 ()

(問2で「① 十分行っている」「② 一応行っている」と答えた方にお尋ねします。)

問2-2 あなたは患者やその家族等と人生の最終段階の医療・療養についての話し合いをいつ行っていますか。(複数回答可)

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき(例:積極的な治療をやめるとき)
- ③ 病気の進行に伴い、死が近づいているとき
- ④ 患者や家族等から人生の最終段階の医療について相談があったとき
- ⑤ 人生の最終段階に限ることなく、日々の診察の中で話し合っている
- ⑥ その他

(問2で「① 十分行っている」「② 一応行っている」と答えた方にお尋ねします。)

問2-3 あなたは、担当される死が近い患者の医療・療養について、患者本人(もしくは家族等)と話し合った内容を、他の医師・看護職員・介護職員等と情報共有していますか。(〇は1つ)

- ① 記録に残して共有している
- ② 記録には残していないが、日々のミーティング等で共有している
- ③ 特に共有していない

(問2で「③ ほとんど行っていない」と回答された方にお尋ねします。)

問2-4 ほとんど行っていない理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 人生の最終段階における話し合いのノウハウがないため
- ② 話し合う余裕がないため
- ③ 人生の最終段階の話しを切り出すことに抵抗を感じるため
- ④ 人生の最終段階を迎える患者と関わる機会が少ないため
- ⑤ その他()

問3 人生の最終段階の医療・療養の方針について、医師や看護・介護職員等の間に意見の相違が起こったことがありますか。(〇は1つ)

- ① ある
- ② ない
- ③ 人生の最終段階の患者に関わっていない

(問3で「① ある」と回答の方にお尋ねします。)

問3-1 倫理委員会等(医療従事者等が助言を求めることができる複数の専門家からなるチーム等)に相談しましたか。(○は1つ)

- ① 相談した
- ② 倫理委員会等はあるが相談していない
- ③ 倫理委員会等の相談するための体制がない

問4 あなたは患者が医療・療養の選択について意思決定できなくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいかあるいは受けたくないか、かわりに誰に意思決定してもらいたいかならかじめ記載する書面(事前指示書)を用いることを勧めていますか。

(○は1つ)

- ① 人生の最終段階の患者に勧めている
- ② 人生の最終段階の患者に限らず勧めている
- ③ 患者・家族等から相談があった時に勧めている
- ④ 特に書面は用いていない

問5 あなたは患者が医療・療養の選択について意思決定できなくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいか、代わりに誰に意思決定してもらいたいかなどの代理意思決定できる人をいつ確認していますか。

(複数回答可)

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき(例:積極的治療をやめるとき)
- ③ 病気の進行に伴い、死が近づいているとき
- ④ 患者や家族等から人生の最終段階について相談があった時
- ⑤ その他()
- ⑥ 確認していない

問8 あなたは、担当される人生の最終段階における患者の医療・療養の方針決定に際して、学会等により作成された人生の最終段階の医療に関するガイドラインを参考にしていますか。参考にされている場合はどのガイドラインを参考にしていますか。

(複数回答可)

- | | |
|--|----------------------|
| ① 厚生労働省 (人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン) | |
| ② 日本医師会 | ⑩ その他ガイドライン () |
| ③ 全日本病院協会 | ⑪ 施設独自で作成したガイドライン |
| ④ 日本学術会議 | ⑫ ガイドラインを参考にするつもりはない |
| ⑤ 日本小児科学会 | ⑬ ガイドラインを知らない |
| ⑥ 日本老年医学会 | ⑭ 人生の最終段階の患者に関わっていない |
| ⑦ 日本集中治療学会・日本循環器学会・日本救急医学会 | |
| ⑧ 日本臨床倫理学会 | |
| ⑨ 日本緩和医療学会 | |

問9 あなたは、人生の最終段階の定義や、延命治療の不開始、中止等を行う場合の判断基準について、どう考えますか。(○は1つ)

- ① 詳細な基準を示すべきである
- ② 大まかな基準を作り、それにそった詳細な方針は、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して決定すればよい
- ③ 一律な基準は必要なく、医師又は医療・ケアチームが患者・家族等と十分に検討して方針を決定すればよい
- ④ その他 (具体的に) ()
- ⑤ わからない

問10 もしあなたの患者が以下のような病状になった場合、どのような医療をすすめますか。

－患者の病状－

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

－医療上の判断－

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

問10-1 どこで療養することをすすめますか。(○は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問10-2 どこで最期を迎えることをすすめますか。(○は1つ)

- ① 医療機関 ② 介護施設 ③ 自宅

問10-3 下記のア～キの治療をすすめますか。(○はそれぞれ1つ)

(ア) 副作用はあるが、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(カ) 呼吸ができなくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)

- ① すすめる ② すすめない ③ わからない

(1) 実務経験はどのくらいありますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① 1-5年 | ⑤ 21-25年 | ⑨ 41-45年 |
| ② 6-10年 | ⑥ 26-30年 | ⑩ 46-50年 |
| ③ 11-15年 | ⑦ 31-35年 | ⑪ 50年以上 |
| ④ 16-20年 | ⑧ 36-40年 | |

(2) 専門としている領域は以下のうちどれですか。(医師に限る)(複数回答可)

- | | | |
|--------|---------|--------------|
| ① 内科 | ⑧ 眼科 | ⑮ 臨床検査 |
| ② 小児科 | ⑨ 耳鼻咽喉科 | ⑯ 救急科 |
| ③ 皮膚科 | ⑩ 泌尿器科 | ⑰ 形成外科 |
| ④ 精神科 | ⑪ 脳神経外科 | ⑱ リハビリテーション科 |
| ⑤ 外科 | ⑫ 放射線科 | ⑲ 総合診療科 |
| ⑥ 整形外科 | ⑬ 麻酔科 | ⑳ 緩和ケア科 |
| ⑦ 産婦人科 | ⑭ 病理 | ㉑ その他() |

(3) 現在勤務している施設は以下のうちどれですか。(○は1つ)

1 病院

- ① 199床以下 ② 200~499床 ③ 500床以上

2 診療所

- ① (ア、無床 イ、有床(床))
② (ア、在宅療養支援診療所である イ、在宅療養支援診療所ではない)

3 訪問看護ステーション 利用者実人数()人
(平成29年○月1ヶ月間)

4 介護老人福祉施設

5 介護老人保健施設

6 その他()

(4) 人生の最終段階の意思決定支援に係る研修を受けていますか。(複数回答可)

- ① 受けている
② 受けていない
③ 今後、受ける予定

((4)で「①受けている」と答えた方にお尋ねします。)

(4) - 1 どのような研修を終了していますか。(複数回答可)

- ① 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会 (厚生労働省)
- ② がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 (日本緩和医療学会 PEACE・プロジェクト)
- ③ 施設内で独自に実施している研修
- ④ その他、人生の最終段階の意思決定支援に係る研修 (研修名: _____)

(5) あなたは死が近い患者とどのくらい関わりますか。(○は1つ)

- ① 1ヶ月に1名以上
- ② 半年に1名以上
- ③ 1年に1名程度
- ④ 亡くなることはまずない

施設票 案

問1 あなたの施設では、人生の最終段階の患者・利用者（以下、「患者等」とする。）の医療・療養の方針について、患者等、家族等と施設関係者（医師や看護・介護職員等）が集まって十分な話し合いが行われていますか。（○は1つ）

- ① 十分行われている
- ② 一応行われている
- ③ ほとんど行われていない
- ④ 行ったことはない
- ⑤ 人生の最終段階の患者がいないので、機会がない

※「家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人（友人、知人）を含みます。

問2 あなたの施設では、人生の最終段階における医療・療養の方針について本人・家族と話し合いをいつ行っていますか。（複数回答可）

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき（例：積極的治療をやめるとき）
- ③ 病気の進行にともない、死が近づいているとき
- ④ 患者等や家族等から人生の最終段階の医療について相談があったとき
- ⑤ 病状と関係なく、自施設の利用が始まる時
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ わからない

問3 あなたの施設では、患者・利用者が医療の選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、どのような医療・療養を受けたいかあるいは受けたくないか、自分で意思決定出来なくなった場合に備えて代わりに誰に意思決定してもらいたいかをあらかじめ記載する書面（事前指示書）を用いていますか。（○は1つ）

- ① 施設の方針として、用いている
- ② 施設の方針は特に決めていないが、用いることもある
- ③ 用いていない

問4 あなたの施設では、利用中に医療の選択について意思決定出来なくなった場合に備えて、代わりに誰に意思決定してもらいたいかなどの代理意思決定できる人をいつ確認していますか。（複数回答可）

- ① 治療困難な病気と診断されたとき
- ② 治療方針が大きく変わったとき（例：積極的治療をやめるとき）
- ③ 病気の進行にともない、死が近づいているとき
- ④ 患者等や家族等から人生の最終段階の医療について相談があったとき
- ⑤ 病状と関係なく、自施設の利用が始まる時
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ 確認していない

問5 あなたの施設には、通常の話し合いでは、延命のための処置を開始しないことや処置を中止することなどの方針の決定が難しい場合に、医療従事者等が助言を求めることができる複数の専門家からなる委員会（倫理委員会やコンサルテーションチーム等）はありますか。（○は1つ）

- ① ある
- ② ない

問6 あなたの施設では、人生の最終段階における医療・療養に関して、患者等、家族等に対して、人生の最終段階の病状や医療処置等について説明するための資料の準備がありますか。（複数回答可）

- ① 行政が作成したパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ② 学会や医療機関が作成したパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ③ 施設独自のパンフレット・リーフレット・書類を使用
- ④ その他の書類を使用（ ）
- ⑤ 説明はしているが、特にパンフレット・リーフレット・書類は準備していない
- ⑥ 説明はしておらず、パンフレット・リーフレット・書類も準備していない

問12 あなたの施設では、人生の最終段階の患者・利用者の医療・療養方針の決定に際して、学会などにより作成された人生の最終段階に関するガイドラインを参考にしていますか。また、参考にしている場合はどのガイドラインを参考にしていますか。

(複数回答可)

- | | |
|---|----------------------|
| ① 厚生労働省(人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン) | |
| ② 日本医師会 | ⑩ その他ガイドライン() |
| ③ 全日本病院協会 | ⑪ 施設独自で作成したガイドライン |
| ④ 日本学術会議 | ⑫ ガイドラインを参考にするつもりはない |
| ⑤ 日本小児科学会 | ⑬ ガイドラインを知らない |
| ⑥ 日本老年医学会 | ⑭ 死が近い患者に関わっていない |
| ⑦ 日本集中治療学会・日本循環器学会・日本救急医学会 | |
| ⑧ 日本臨床倫理学会 | |
| ⑨ 日本緩和医療学会 | |

問13 あなたの施設では、患者等が望む場所での医療・療養を実現するための支援をしていますか。

(○は1つ)

- ① 専門の職員を配置し、支援している
- ② 担当医師や医療・ケアチームが支援するよう、職員に対して指導している
- ③ 施設として特段の対応はしていないが、必要な支援は行われていると思う
- ④ 支援は行っていない
- ⑤ どちらとも言えない
- ⑥ その他()

(1) あなたの施設が有するすべての下記ア～キの病床数(介護系施設の場合には定員数)について記載してください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------|
| (ア) 一般病床 | 1 病床有り () 床 | 2 病床無し |
| (イ) 療養病床 | 1 医療療養病床あり () 床 | |
| | 2 介護療養病床あり () 床 | |
| | 3 病床無し | |
| (ウ) 精神病床 | 1 病床有り () 床 | 2 病床無し |
| (エ) 感染症病床・結核病床 | 1 病床有り () 床 | 2 病床無し |
| (オ) 診療所 | 1 病床有り () 床 | 2 病床無し |
| (カ) 訪問看護ステーション | 1 利用者実人数 () 人 | |
| | (平成 29 年〇月 1 ヶ月間) | |
| (キ) 介護老人福祉施設 | 1 入所定員 () 人 | |
| (ク) 介護老人保健施設 | 1 入所定員 () 人 | |
| (ケ) (キ) (ク) 以外の介護施設 | 1 施設有り | 2 施設無し |

(2) あなたの施設での過去 1 年間の看取り数を教えてください。

() 人

(3) 介護施設の施設長にお尋ねします。あなたの施設での過去 1 年間の救急搬送の数を教えてください。

() 件

(4) 病院・診療所の施設長へお尋ねします。該当するものに○をして下さい。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① (ア、訪問診療をしている | イ、訪問診療をしていない) |
| ② (ア、在宅療養支援診療所である | イ、在宅療養支援診療所ではない) |
| ③ (ア、在宅療養支援病院である | イ、在宅療養支援病院ではない) |

(5) あなたが有する資格についてお尋ねします。(複数回答可)

- ①医師 ②歯科医師 ③薬剤師 ④看護師/准看護師 ⑤リハビリ専門職 (PT/OT/ST)
⑥栄養士/管理栄養士 ⑦社会福祉士/精神保健福祉士 ⑧介護福祉士
⑨ケアマネジャー ⑩その他の資格 (記載 :) ⑪なし